

利府町文化交流センター モニタリング評価【総括評価シート】

利府町

評価年度

令和 6 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町文化交流センター
指定管理者名	利府みらいクリエイティブ（代表企業：丸善雄松堂株式会社、構成企業：アクティオ株式会社、株式会社東急コミュニティー）
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	利府町文化交流センター条例(令和元年条例第24号)
施設の設置目的	町民の文化芸術活動及び交流の場を提供するとともに、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって町民の教育と文化の発展及び福祉の増進に寄与すること。
施設概要	場 所 : 利府町森郷字新椎の木前31番地1 敷地面積 : 22,403.61㎡ 建物概要 : 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階一部3階建て、地下なし 建築面積 3,869.41㎡ 延床面積 5,308.01㎡ 駐車場 約380台（内おもしろい駐車場6台） 駐輪場 約70台（37.11㎡） 主な施設 : 利府町図書館 1,206.05㎡ 利府町公民館 556.30㎡ 利府町文化会館 3545.66㎡（共用部分含む）
施設所管課	利府町教育委員会 教育部 生涯学習課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
来館者数合計(人)	144,663	230,333	242,730	250,207	
利用料金収入合計(円)	8,671,450	14,178,350	13,651,560	13,504,310	

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	年間利用者(来館者)数の増加 (人)
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で来館者数を147,000人以上とし、次年度から令和7年度まで来館者数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに155,000人以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標値(人)	110,250	148,000	149,000	150,000	151,000
実績値(人)	144,663	230,333	242,730	250,207	
達成度(%)	131%	156%	163%	167%	0

指標 2

指標名（単位）	利用登録団体数の増加（団体）
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で利用登録団体数を143団体以上とし、次年度から令和7年度までに団体数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに158団体以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(団体)	143	145	147	149	151
実績値(団体)	414	639	619	639	
達成度(%)	290%	441%	421%	429%	0

指標 3

指標名（単位）	年間貸出冊数（冊）
指標式と指標の説明	利府町総合計画「生涯学習の推進」における指標として、令和7年度までに、町民ひとり当たりの図書の年間貸出冊数を8.5冊以上という目標を掲げている。 なお、総合計画において令和12年度までには12冊以上とする目標を掲げている。 しかし、上記は人口変動の影響を受けるため、指定管理者の評価には貸出冊数を目標値とし、令和7年度まで増加を図るものとする。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(冊)	208,000	249,800	274,800	302,200	332,500
実績値(冊)	194,856	285,718	302,619	310,555	
達成度(%)	94%	114%	110%	103%	0

評価（5段階）	評価理由
S	上記指標の達成度の平均が「232%」となるため、「S評価」となる。 来館者数、図書の貸出数についても順調に伸びている。特に来館者数については、令和7年度で100万人を超える見込みで、施設の認知度も上がっている。各々の目標指標を達成できたことは、指定管理者の努力の成果と評価できる。

懇話会意見	全ての指標において高い達成度になっており高評価であり、施設の認知度も上がり順調に運営されていることは評価したい。ただし、当初設定した総合計画に基づく指標が、実情に沿わず実績と数値が大きく乖離している。今後、各指標については、現状を踏まえ、令和7年度で行う総合計画の中間見直しの中で、実情に沿った目標値に改める必要がある。
-------	--

4. 事業の実施状況

(1)指定事業（全26事業より抜粋）

①図書館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
おはなし会	毎週水曜 毎週土曜	曜日別に対象を分け、絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びや簡単な工作などを行うおはなし会を実施。
図書館ツアー	4月～	ツアー形式で図書館内を職員が案内。 希望があれば随時開催することを基本に、開館記念月である7月は一般募集を行い実施。学校関係や他図書館、自治体などの見学もあり。
リサイクルブックフェア	4・10月	町民の図書館利用の促進を目的に、図書館で保存していた資料を無料で提供する。図書館内の除籍資料が少なくなったことから、利用者からも寄贈資料を募集した。
ボランティア養成講座	6月・7月 8月・1月	配架・修理ボランティア、読み聞かせボランティア、音訳ボランティアを対象に養成講座や交流会を実施。
出張おはなし会	都度	各施設に図書館職員が伺って、施設に通う児童や利用者に向けておはなし会を実施。参加者へ図書館利用方法や育児支援コーナーもPRした。 町内の施設で事業を行うことで、各施設と連携を深めることができた。

②公民館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
長期休暇こども宿題お助け教室	7月・8月 9月・12月	夏・秋・冬期間中における小学生への学習習慣の維持、学習課題の解決を目指す場を提供。長期休暇の宿題や課題への取り組みを支援する内容とした。6講座を開催。
利府の産農体験	6月・7月 11月	子どもたちが地域にある産業・農業体験から地域への愛着と誇りを涵養することを目的とし、落花生の苗植え付け・収穫・実食、新幹線総合車両センター構内見学、仙台筆筒（樺産業）見学・ワークショップを実施。
利府の魅力再発見「利府古道に親しむ～歴史×利府トレイル」	4月・11月 2月	利府町内の古道を実際に歩くことで歴史を感じ、自然を体感しながら健康増進の働きかけと「利府トレイル」の活動を知り、地域の魅力を体感した。利府町郷土会と利府トレイルの協力により開催。
令和6年度 利府町文化祭	11月	利用者サークル等の出演（ステージ発表）、出展（作品展示）、体験、物販部門にて地域住民の交流と親睦を図ると共に、薫り高い文化の祭典。過去開催の反省点や要望を反映させ、出展、体験、物販の開催場所を変更し、来場者を楽しんでいただくことをコンセプトに開催。
利用者サークル体験会	2月	公民館利用者サークルによる活動内容の説明と体験会を実施し、サークル会員の増員と併せて生涯学習・公民館事業の推進を図る。体験者増を図るために、開催場所を多目的ホールからイオンモール新利府南館2Fライブスクエア（1日）、エントランスホール（3日間）に変更し実施した。

③文化会館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
エントランスコンサート	5月・6月 7月・9月 10月・1月 2月	年6回エントランスホールの開放的な空間で来館者に広く楽しんでいただく無料イベント。リノスイルミネーション点灯事業募金箱を設置し、事業への理解を図る。アウトリーチとして役場町民交流館にて9月に開催した。
やさしい風が運ぶもの～ギターとチェロの午後～	6月	「題名のない音楽会」に出演する実力派ギタリストと期待の新鋭チェリストによる公演。ナビゲーターを迎え、分かりやすく解説する工夫を凝らし癒しのコンサートとした。座席販売数137枚。当日は137人（大人132人、子ども5人）観覧。

リフノス3周年記念事業 「花乱舞 其ノ参 －原点回帰－」	7月	若き伝統芸能にてさらにリフノスの成長をお祝いする公演。1周年・2周年記念同様、完売御礼となった。座席販売数308枚。当日は311人（大人286人、子ども10人、招待17人）観覧。
「心と心、歌でつなぐ」 宮下大器・浜野与志男 ジョイント・リサイタル	7月	ベルリンを拠点に活躍するテノール歌手による渾身の公演。オペラを主体とするクラシックへの理解を進めるため、公演前日にはエントランスホールにて告知を兼ねた無料イベントを実施。座席販売数54枚、当日は98人（大人50人、子ども3人、招待45人）観覧。
ドラマティックソプラノ 福田祥子の歌唱公演	11月	著名なオペラ歌手の歌唱による、一体感あるホールの特性を最大限に活かした圧巻の公演。座席販売数26枚、当日は112人（大人19人、子ども4人、招待89人）観覧。

(2)提案事業（全30事業より抜粋）

主な事業名	実施時期	内容
読書スタンプラリー	7～9月	中学生以下を対象に、図書館の本を借りてスタンプを集めると景品と交換できるスタンプラリーを実施。累計参加者数は前年と比較して305人増加。イベントをきっかけに利用登録をする方が多数。
本とことばのワークショップ →「絵本作家・ちゅうがんじたかむ さんとつくる「自分だけの絵本」」と して実施	9月・10月	絵本作家・イラストレーターのちゅうがんじ たかむ氏を講師に招き、全2回の絵本作りワークショップを開催。第1回では、「利府・わたしたちのまち」をテーマに、利府の特産品、名所などをモチーフにしたキャラクター作りを実施。第2回では、1回目に創作したキャラクターをもとに、講師からレクチャーを受けながら8ページ分の絵本を制作。また、同日に行われたおはなし会では、講師による読み聞かせを実施した。
自衛隊音楽隊コンサート	5月	陸上自衛隊第6音楽隊の協力を得て、利府町内児童・生徒が音楽に触れ合う機会を提供。第一部は町内学校在籍の児童生徒・町内在住学生の優待回、第二部は一般の二部制で開催。スペシャルゲストで利府町観光大使「翼」tasku氏が出演し、音楽隊と共演した。
避難訓練コンサート	9月	演奏会中に地震・火災が発生した想定で避難訓練を実施。エントランスホールでは、利府町危機対策課、利府消防署、塩釜警察署、自衛隊宮城地方協力本部の協力を得て、展示などで防災・減災の啓発を実施。演奏は仙台フィルハーモニー管弦楽団による金管五重奏。
日本みつばちを知ろう	7月・9月 10月	日本みつばち八里の会より蜜源植物についての講話、はちみつパークでの採蜜・蜜蝋作り体験を通して、里山環境が残る利府町の魅力と地域を豊かにすることを身近に捉える。

(3)自主事業（全2事業）

主な事業名	実施時期	内容
リフノスPR事業	9月	仙台放送の情報番組「あらあらかしこ」内にて「リフノス」を10分程度の尺でPRするもの。利府町の食材を取材・食材を使用したメニューを考案し、カフェにて提供。施設内容にも触れることで更なる認知度と注目度を高めるとともに、今後の事業における集客向上を目的として実施した。
カフェレストラン・アリーノ	通年	営業日数305日。定休日及び臨時休館時以外はすべて営業。通常営業の他、年間通して図書館、公民館との連携事業を実施した。

評価（5段階）	評価理由
A	開館4年目となり、図書館、公民館、文化会館の各事業にも確実にリピーターもが増え計画どおりに事業を行っている評価できる。自主事業として仙台放送に委託しリフノスのPR事業を実施し、認知度を高めることができた。カフェレストランについては、利用者も定着してきているが、さらなる利用拡大を図るため、ニーズに見合った新メニューの開発などを期待したい。

懇話会意見	子どもから高齢者まで偏りなく事業配分しながら、時代に即した形でバランスよく事業を企画展開いただいた。各事業ともに創意工夫を凝らし、継続事業であつてもリノベーションを図る姿勢がみられ、参加者の満足度の高さにつながっている。 また、民間の社会貢献事業を活用した講座の開催や、地元の郷土意識を育む事業が重要であることを認識し、積極的に取り組んでいることなどは、特に高く評価したい。要望としては、図書館や公民館事業で特に人気が高く抽選となる事業については、可能であれば、応募枠をさらに拡大するなど、町民ニーズに柔軟に対応してほしい。
-------	--

５．利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	施設利用者アンケート調査の実施 / 人
目標値の基準	施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、設問「施設の設備・サービスについて満足しているか」総回答に対する「満足している」「どちらかという満足している」と回答した割合の小数点以下第2位を四捨五入した数値を実績値とする。 (目標値80%は募集時の提案書記載の数値)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)	80%	80%	80%	80%	80%
実績値(%)	75%	84%	88%	90%	
達成度(%)	93%	105%	110%	113%	0

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
事業ごとアンケート	都度	各館、事業の参加者にアンケートをお配りし、率直な感想をいただいている。集計結果を職員で共有し、次年度の事業内容や日々の運営に反映させている。
お客様の声	都度	総合受付に「お客様の声」ボックスを設置。いただいたご意見やご要望は施設全体に共有している。
Webサイトからのお問い合わせ	都度	施設Webサイトのお問い合わせメールフォームから随時お問い合わせを受け付け、担当者より回答を差し上げている。

評価（５段階）	評価理由
S	上記指標の達成度の平均が「110%」となるため、「S評価」となる。 今回の実績は、指定管理者において実施した令和6年12月のアンケート調査の結果を反映している。令和5年の実施の際は回答数が306件、今回は273件と回答数が減少しているものの、利用満足度の評価は高く推移している。
懇話会意見	実施事業ごとの参加者アンケートや、施設利用に関する利用団体アンケートを実施するなど、積極的にお客様の満足度を把握し、改善に努める姿勢がみられ、高評価につながっている。今後も引き続き、ニーズに即した事業展開を図ってほしい。また、リフノス窓口の職員の対応についても教育指導が行き届いており好印象であり、高く評価したい。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	令和5年度決算	令和6年度決算	令和5年度・令和6年度決算比
収入（a）	237,629	236,863	-766
指定管理料	221,580	220,670	-910
利用料金収入	13,652	13,504	-148
（うち、減免補填額）	(2,822)	(2,514)	(-308)
事業収入	1,584	1,946	362
その他の収入	813	743	-70
支出（b）	226,630	234,050	7,420
人件費	106,247	111,149	4,902
事務事業費	55,575	57,517	1,942
維持管理費	64,661	65,275	614
その他の支出	147	109	-38
収支（a）-(b)	10,999	2,813	-8,186
備考	光熱水費の実績 21,657,714円	光熱水費の実績円 20,064,743円	

※ 光熱水費については、収支のほかに指定管理者が立て替え払いしたのち、町で補填している。

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	提出された最新の決算書からは、指定管理者である利府みらいクリエイティブの経営母体である各社の財務状況に支障は認められない。
評価（５段階）	評価理由
A	総収支が黒字、指定管理料以外の独自収入は16,193千円となり、総収入の6.8%にあたる。 各社の経営状況に不安はないが、固定比率と総資本経常利益率において前年度より数値が下がっている会社がある。
懇話会意見	共同企業体を構成する３社ともに、経営状況は良好であり、安定している。事業の企画にあたっては、今後も常に支援制度の情報を共有し、積極的な補助活用を推進し、独自財源の確保に努めてほしい。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町教育委員会教育部生涯学習課職員が、現地調査により資料や施設を確認し実施した。また、詳細確認は、指定管理者へのヒアリングを実施し実施した。
実施時期	令和6年7月、10月、令和7年1月、4月 (年1回以上実施)

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適 正	
危機管理	適 正	
人員配置・地元活用	適 正	
現金管理	適 正	
会計・経理	適 正	
情報セキュリティ	適 正	
情報公開・個人情報保護	適 正	
町への報告事項・事前承認等	適 正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（5段階）	評価理由
A	指定管理4年目となり、安定した管理運営がなされている。町への報告事項も適宜館長や管理担当者から行われるなど、適切な対応がとられていると評価できる。

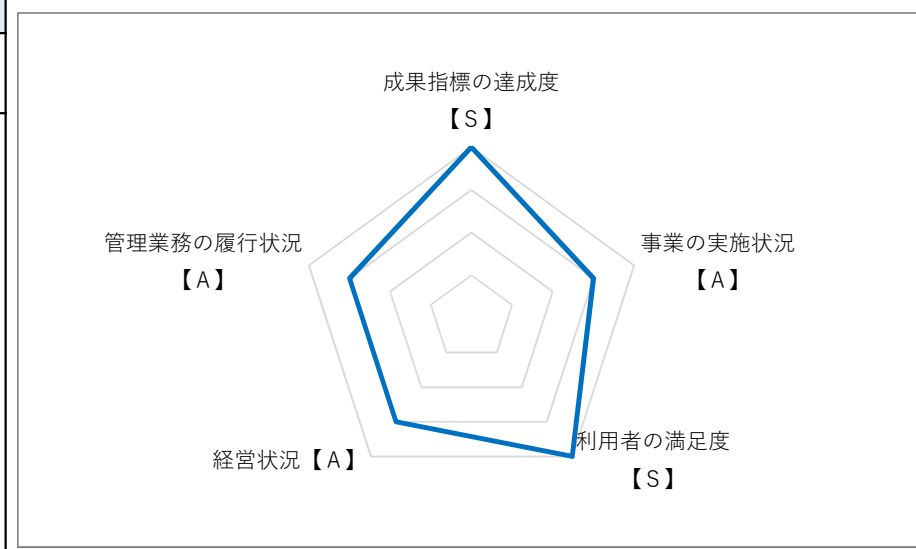
懇話会意見	指定管理で4年経過し、これまでの経験から培ったノウハウを生かしながら、安定した管理運営が行われている。施設管理面においては、近隣に複数の商業施設が出店したほか、弓道場も整備され、通過交通が増加し、大きく環境が変わってきている。施設利用者や通学児童生徒の安全確保については、これまで以上に万全を期してほしい。
-------	---

8. 指定管理者の自己評価

自己評価点数	成果指標となっている、来館者数、利用登録団体数、図書資料貸出点数に関して、すべて目標値を上回ることができた。図書館においては、学校図書室との連携を進めることができ、児童・生徒の読書推進活動を共同で行う企画も具体的になった。公民館・文化会館においては、利府町文化祭においてコンセプトの明確化・新規取組を実践し、来場者及び参加団体増と協力関係の強化となった。また、利府高校との協働で具体的な関係構築が実現し、次年度以降の事業連携に繋げることができた。施設管理においては、空調、照明などを効率よく運用し、修繕も極力自前で対応した。
85	
自己総合評価	
S	

9. 最終評価

総合点数	開館4年目となり、管理運営も安定している。ほぼすべての事業が計画に沿って実施できたことや、成果指標の達成状況、利用者の満足度が「S」評価、事業の実施状況、経営状況、管理業務の履行状況については「A」評価となり、高い評価となった。 引き続き、施設の設置目的の達成に向けた施設の管理運営に努めていただきたい。
85	
最終評価	
S	



懇話会意見	指定管理4年目という経験を生かし、利用される方々の声を積極的に取り入れ、改善しながら多種多様な事業展開を図っており、図書館、公民館、文化会館ともに高評価につながっている。これまでの利府のイメージとしてはイオンや新幹線車両センターが認知度が高かったが、最近「リフノス」の名前がよく聞かれるようになり、知名度が確実に上がっていると感じる。これは、指定管理者の事業推進と積極的な情報発信を続けてきた成果であり高く評価したい。今後も民間ならではのノウハウを生かし、さらに多くの利用者に図書資料や文化芸術に触れてもらえる町のシンボル施設として成長させてほしい。
-------	---